

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
福岡介護福祉 専門学校	平成2年 2月28日	伊東 隆昭	〒819-0015 福岡県福岡市西区愛宕4丁目2-28 (電話) 092-882-7004			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 伊東文化学園	昭和32年 12月1日	理事長 伊東 隆昭	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3丁目6-35 (電話) 092-761-6155			
目 的	実践力のある介護福祉士を養成することで、日本の福祉の専門性向上に貢献する人材を育てる。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
教育・社会 福祉	専門課程	介護福祉科	2年(昼)	2012時間	平成6年6月 文部省告示第84号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	864時間	692時間	—時間	456時間	時間	
生徒総定員	専任教員数		兼任教員数	総教員数		
80人	4人		12人	16人		
学期制度	■2期制(前期 後期)			成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 基準:100点法の4段階評価 方法:平常点、出席点、期末の定期試験の成績による。	
長期休み	■夏 季 7月下旬~8月末 ■冬 季 12月下旬~1月上旬 ■春 季 3月中旬~4月上旬			卒業・進級条件	(進級)1年次の履修すべき指定科目すべてに合格すること。 (卒業)2年以上在学し、指定科目を履修し、卒業試験、課題研究論文の審査に合格した者(合格C評価60点以上)	

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリング、家庭訪問、 時間外補習 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 特になし ■サークル活動 (有・無) メイク・創作活動
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 ■就職率^{※1} % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} % ■その他 (任意) <p>(平成 年度卒業者に関する平成 年 月時点の 情報)</p>	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士 (国家資格) ・福祉住環境コーディネーター ・セラピーテックケア ・普通救命講習 (修了証) ・手話技能検定
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 2 名 ■中退率 6 % ■中途退学の主な理由 進路変更 経済的理由 ■中退防止のための取組 半期に一度個人面談を行う。 		
ホームページ	URL: http://www.fukuoka-kaigofukushi.ac.jp		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職 (内定) 状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員 (1年以上の非正規の職員として就職した者を含む) として最終的に就職した者 (企業等から採用通知などが出された者) をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職 (内定) 状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない (就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
岡部 章蔵	株式会社 福岡中洲大洋映画劇場 代表取締役
田中 喜美子	公益社団法人 福岡県介護福祉士会 理事 福岡市支部長
石田 浩司	通所介護 姪浜デイサービスセンター 施設長
檜崎 崇雄	特別養護老人ホーム リハモール福岡 生活指導員
萬竹 恵美	介護老人保健施設 老健センター なおお 職員
法川 笑子	特別養護老人ホーム 同朋園 職員
伊東 隆昭	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 総務企画委員
小笠原 靖治 (教務責任者)	福岡介護福祉専門学校 副校長

(開催日時)

第1回 平成27年5月20日 15:00~17:00

第2回 平成27年12月3日 18:30~20:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
介護実習	福祉の現場で450時間実習を行う	高齢者施設 障害者支援施設 訪問介護事業所

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

介護福祉に係る研修だけではなく、同和研修や教員の教育力に係る実習に、積極的に受講する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月1日現在

名 前	所 属
岡部 章蔵	株式会社 福岡中洲大洋映画劇場 代表取締役
石田 浩司	通所介護 姪浜デイサービスセンター 施設長
檜崎 崇雄	特別養護老人ホーム リハモール福岡 生活指導員
萬竹 恵美	介護老人保健施設 老健センター なお
法川 笑子	特別養護老人ホーム 同朋園
占部 学伸	税理士法人 チョーフ会計
伊東 隆昭	学校法人 伊東文化学園理事長 福岡調理師専門学校 校長 福岡介護福祉専門学校 校長
小笠原 靖治	福岡介護福祉専門学校 副校長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.fukuoka-kaigofukushi.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.fukuoka-kaigofukushi.ac.jp>

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程介護福祉科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			人間と尊厳と自立	人間の尊厳とは何かについて理解を深め、尊厳と自立についての関係性について学ぶ。	1	30	2	○		
○			人間関係とコミュニケーション	介護者と利用者との関係づくりのためのコミュニケーションについて知識と理解を深める。	1	30	2	○		
○			生活福祉と社会保障制度	社会福祉の理念について理解できる。各社会福祉制度について理解できる。	1	30	2	○		
○			高齢者福祉論	高齢者福祉全般の法制度の概要を理解する介護保険制度についての理解を深める。	1	30	2	○		
○			障害者福祉論	障害者の生活や社会背景を理解する。また、サービスを提供するのに必要な行政施策の仕組みやサービスの利用にかかわる主な法律体系を理解する。	2	30	2	○		
	○		音楽療法	様々な音楽にふれ、感性を磨く。それぞれの場で音楽をどのように使ったらよいかプログラムをたて活動する。	1	60	4		○	
	○		高齢者・障害者のレクリエーション	レクリエーション支援のための企画力や技術力を高める レクリエーション財の活かし方を身につける	1	60	2		○	
○			介護の基本 I A	介護福祉士としての理念・倫理観を身につける。	1	30	2	○		
○			介護の基本 I B	介護を必要とする人を、生活の視点から捉える。 介護における安全や、チームケアを理解する。	1	90	6	○		

○		介護の基本Ⅱ	介護福祉士として必要な倫理について学習する。 利用者及び介護従事者に対するリスクマネジメントについて学習する。	2	30	2	○		
○		介護に活かすリハビリテーション	ICFを活用できるようになる。 人が動くことができるメカニズムを説明できる。	2	30	2	○		
○		コミュニケーション技術A	利用者とのコミュニケーションの基本がわかる。 コミュニケーションを省察する技法を学ぶ。(再構成)	1	30	2	○		
○		コミュニケーション技術B	視覚障害者について正しく理解するとともに、点字の技法を身につける。 聴覚障害者について正しく理解し、言語である手話で簡単な会話ができる。	2	30	2	○		
○		生活援助技術A	住環境・食事介護・移動介護・睡眠の技術や知識を学ぶ。	1	120	8	○		
○		生活援助技術B	入浴介護・身支度、排泄介護の技術・知識を学ぶ。	1	120	8	○		
○		生活援助技術C	家庭や家族について基本的な知識を身につける、それらの知識等をもとに自分の考えをまとめ、未来を見通す目を養う 高齢者に起こりやすい事故や緊急時の対応について、その背景や根拠を理解したうえで、 予防を踏まえた観察や対応及び連携を学ぶ	2	46	3	○		
○		生活援助技術D	食生活支援をするうえで、まず自分の食生活を見なおし、食文化や食生活の変化をはじめ介護福祉士が食の支援にて、必要な知識を養う 調理の基本を習得し、高齢者・障害者をサポートし、バランス良く手早くおいしい料理が提供できる	2	46	3	○		
○		介護過程Ⅰ	利用者の「尊厳を守るケア」「個別ケア」を実現するための、客観的で科学的な思考過程による介護過程を展開する力を身につける。	1	60	4	○		
○		介護過程Ⅱ	介護過程の実践を行い、評価考察、モニタリングする力を身につける。	2	90	6	○		

○			介護総合演習Ⅰ	介護実習の意義・目的を学び、学校で学んだ知識・技術・態度を実践的に対応できるよう指導する。	1	60	4		○	
○			介護総合演習Ⅱ	利用者のニーズを理解し、個別の介護計画の立案・実践ができるよう指導する。	2	60	4		○	
○			介護実習	講義で学んだ知識に基づいて介護福祉利用者との関わりを深め、介護福祉利用者が求めている生活のニーズに関する理解力、判断力を養う。 施設の運営や訪問介護との連携ならびに通所ケアプログラムにも参加し、利用者の生活全般に対する介護の役割について理解を深める。	1 2	456	10			○
○			発達と老化の理解A	人間の成長と発達、成熟への基礎的理解をしたうえで、老化に伴う心身の変化や特徴を学び、日常生活への影響を理解する。	1	30	2		○	
○			発達と老化の理解B	高齢者に対する心理的支援に必要な知識や関わり方を学習する。	1	30	2		○	
○			認知症の理解	認知症の人の理解をするための基礎知識を学び、介護を実践する考え方を習得する。	1	60	4		○	
○			認知症の人への介護	認知症の人を理解し、生活支援のための介護の考え方を習得する。	2	30	2		○	
○			障害者の理解A	様々な障害がある人の病態を、解剖・生理学を踏まえて理解し、根拠に基づいて介護に展開することができる。	1	60	4		○	
○			障害者の理解B	障害者に対する心理的支援に必要な知識や関わり方を学習する。	2	16	1		○	

○			こころとからだのしくみA	からだの構造や機能及び生活に関わる身支度、移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠に関連したこころとからだのしくみを理解し、介護に活かすことができる。	1	90	6	○		
○			こころとからだのしくみB	死にゆく人の心と身体のしくみを理解し、求められる介護を提供できる知識を習得し医療職と連携をとりながら、死を迎える本人・家族を支援する。	2	30	2	○		
○			医療的ケアⅠ	医療的ケアに関する行為の社会的位置づけ、介護福祉士の役割を理解する。 医療的ケアに必要な医学的知識・技術を身につける。	1	68	4	○		
○			医療的ケアⅡ	医療的ケアに関する行為の社会的位置づけ、介護福祉士の役割を理解する。 医療的ケアに必要な医学的知識・技術を身につける。	2	30	2	○		
○			医療的ケア演習	医学的知識を理解し、安全に利用者を実施することができる技術を身につけることができる。	1 2	30	2	○		
○			課題研究論文	実習事例をもとに、事例研究を行うことで、介護の専門性を構築する方法を学ぶ。	2	-				
○			卒業試験	国家試験と同等レベルの試験を行う。	2	-				
合計				37科目	2012単位時間 (113 単位)					